

私の好きなとんぼの本⑤

作家 原田マハ



はらだ・まは 1962年東京都生まれ。関西学院大学文学部日本文学科および早稲田大学第二文学部美術史科卒業。森ビル森美術館設立準備室に在籍中、ニューヨーク近代美術館に派遣され勤務。2005年『カフィーを待ちわびて』で第1回日本ラプストリー大賞受賞。著書に『楽園のカンヴァス』『ジヴェルニ―の食卓』『総理の夫』など。

大いなる散財

宇野千代、白洲正子、小林秀雄、三島由紀夫、そして高峰秀子。この人物たちは、美の旅人であり、美的暮らしの達人であった。つまりは、その人生において、美に対するあくなき探求を続け、美に対する妥協をしない、美の巨匠であった（以上、『美』という文字を一気に五回使った）。私は、彼らの生き様に憧れ、彼らのようになりたいと思うあまり、一年の半分以上を旅に費やし、生きていくには必要はないけれどもあれば生活が豊かになる、というような文物——香水、ストール、鉄瓶から書画骨董まで——を、旅先でせっせと買い漁っている。身銭を切って気障を気軽に、自らの流儀に妥協を許さぬ巨匠たちに、少しでも近づきたいと日々願っている。それが、私がとんぼの本を熟読する理由である。そして散財する最たる理由でもある。



宇野千代
女の一生
宇野千代 小林庸浩ほか
128頁／1470円



小林秀雄
美と出会う旅
白洲信哉編
128頁／1470円



高峰秀子
旅の流儀
斎藤明美編
128頁／1680円



三島由紀夫の
愛した美術
宮下規久朗 井上隆史
128頁／1575円



白洲正子
“ほんもの”の生活
白洲正子 青柳恵介ほか
144頁／1575円